

課題

【中・英語】日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることが苦手

手立て

- STEP① 文章の主題（要点）を捉えるようにする
- STEP② 段落ごとの主な内容（概要）を捉えるようにする
- STEP③ 「話すこと」・「書くこと」の言語活動へつなげる

具体例

STEP① 文章の主題（要点）を捉えるようにする

- ①学習者のレベルに合った文章を、最初から最後まで通して読む機会を、できるだけたくさん設定することで、まとまりのある文章に読むことに慣れさせる。
 - ・エッセイなどの時系列で書かれた文章は、時を表す語に着目させる。
 - ・イラスト、図、表などは、正確に捉えさせる。
- ②文章のタイトルを推測させる。
- ③文章の主題（要点）を2～3文でまとめさせたり、絵で表現させたりする。
 - ・ペアやグループで「5W1H」について、質問したり答えたりさせることもできる。
 - ・読み取れたことについて、ペアやグループで考えを交流させたあとでまとめさせることもできる。

STEP② 段落ごとの主な内容（概要）を捉える練習をさせる

- ①各自のペースで自由に書き込みをしながら文章を読み、各段落の主な内容をつかませる。
 - ・説明文などでは、各段落のはじめに main idea が書かれていることが多いので、まず各段落のはじめの1～2文に注目させる。
 - ・物語などでは、接続詞に着目させ、文章の流れを理解するためのキーワードを拾わせる。
- ②マッピング（図示）させたり、表にまとめさせたりするなど、ワークシートなどを工夫して、段落間の関係を把握させる。
- ③各自で捉えた段落ごとの主な内容（概要）について、段落の中でその文を選んだ理由なども含め、ペアやグループで共有させる。
- ④考えを共有した上で、改善案を考えたり、情報の不足や偏りがないように検討したりさせる。
※このあと、文章構成の特徴を意識しながら、まとまりのある文章を書く活動をするとも考えられる。

STEP③ 「話すこと」・「書くこと」の言語活動へつなげる

- 「概要を把握する」という受容面での英語使用にとどまらず、言語活動を工夫して、積極的に発信面でも英語使用をさせる。
- 相手にわかりやすく伝えるために、話したり、書いてまとめたりする言語活動をする。
 - ・聞き手や読み手に、物語などの話の結末について期待を持たせたり、全体の内容が簡潔に網羅されるようにしたりするなど、話し方や書き方に工夫させる。

(例) Retelling 活動 ※伝える相手を変え、各1分程度4回活動する。絵や写真、キーワードを見せながら発話する。

- (1) 教科書本文に関する内容を、3文以上を目標に発話する。
 - (2) (1)の発話を繰り返すか、(1)の相手ペアの発話を参考に3文以上を目標に発話する。
 - (3) 本文に関する内容を2文程度にし、自分の考えや感想を1～2文発話する。
 - (4) 本文に関する内容を1文程度にし、自分の考えや感想をできるだけ多く発話する。
- ※このあと、発話した内容を書き出す活動をするとも考えられる。